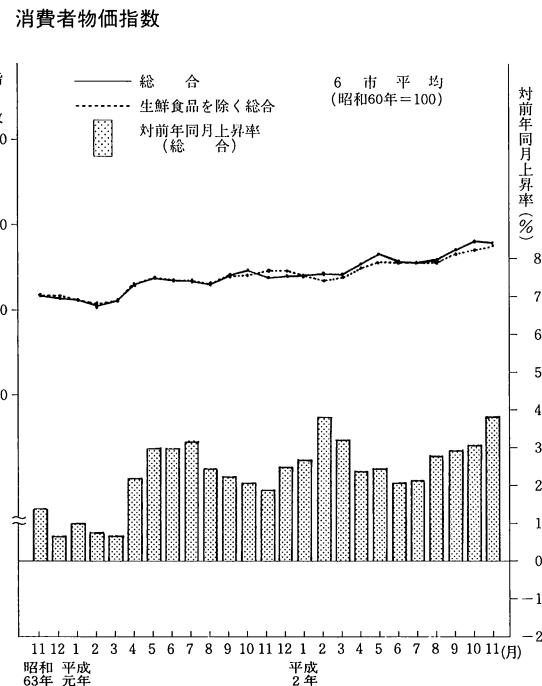
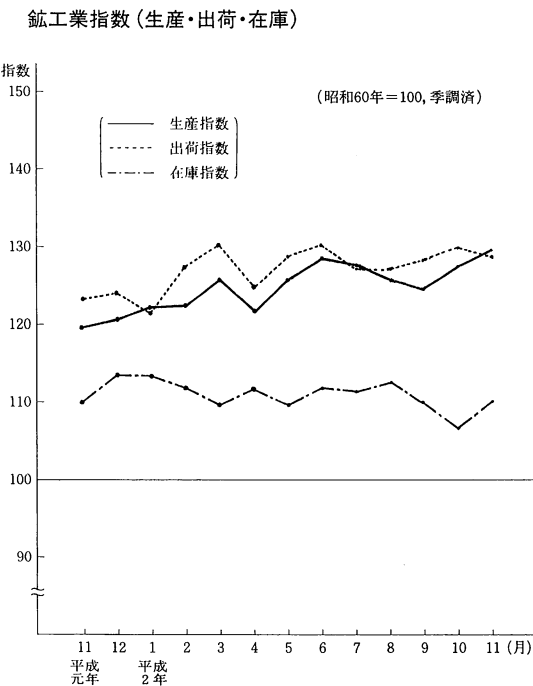
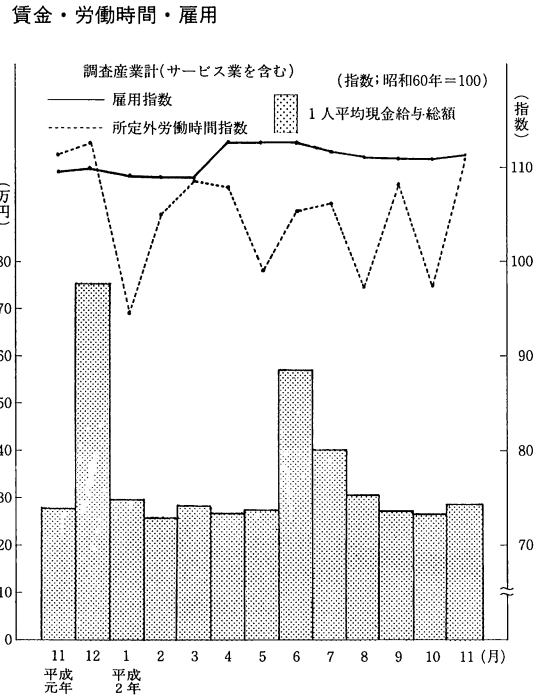
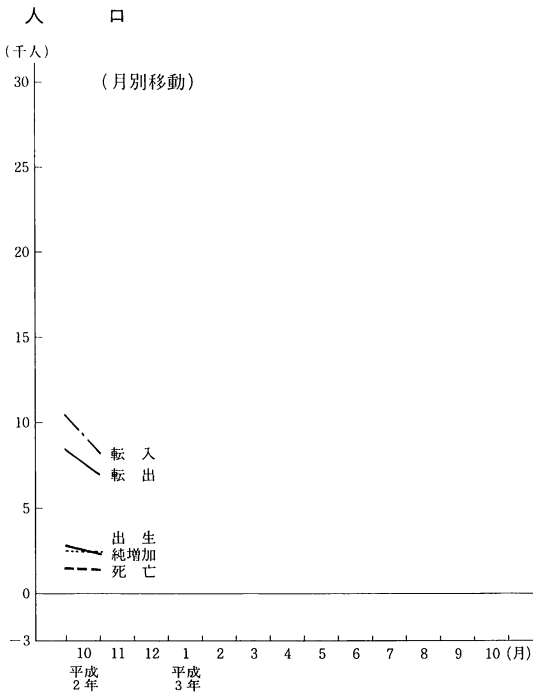


● 今月の主な動き

今月の主な動き



主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

■ 人 口 (12月 1 日)

本県の人口は、11月中に2,270人増加し、12月1日現在で2,850,549人(男1,421,746人、女1,428,803人)となった。

内訳は、自然動態で872人(出生2,368人、死亡1,496人)増加し、社会動態で1,398人(転入8,394人、転出6,996人)増加した。対前年同月と比べると19,800人(0.70%)の増加

である。

市町村別では、増加が17市47町村、減少が3市20町村、増減なしが1町である。

世帯数についても11月中に1,353世帯増加し836,294世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11月)

1. 平均賃金の推移

11月の現金給与総額は、調査産業計で285,176円、前年同月比5.3%増(前月は4.2%増)であった。このうちきままって支給する給与は272,823円、前年同月比4.7%増(前月は4.7%増)であった。また、きままって支給する給与のうち、所定内給与は239,426円で前年同月比4.8%増(前月は4.6%増)であり、超過労働給与は33,397円で前年同月比4.3%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、前年同月比0.8%増であった。

2. 労働時間

11月の総実労働時間は、調査産業計で177.5時間、前年同月比1.2%減(前月は2.1%減)であった。このうち所定内労働時間は、157.7時間で前年同月比1.3%減(前月は2.7%減)であった。

また、所定外労働時間は19.8時間、前年同月比は0.5%減(前月は2.6%増)であった。

3. 雇用の動き

11月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.5%増(前月は1.7%増)であった。

* この地方調査の結果は事業所規模30人以上を対象として公表しています。
なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (11月分)

本県における平成2年11月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が129.6、出荷が128.7、在庫が110.2で、前月比は、生産が1.5%の上昇、出荷が△1.2%の低下、在庫が3.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が8.4%の上昇、出荷が4.3%の上昇、在庫が0.0%の持ちあいであった。

業種別に前月比をみると生産では、鉄鋼業、プラスチック製品工業、電気機械工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、化学工業等が低下した。出荷では、プラスチック製品工業、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇

し、輸送機械工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が上昇し、化学工業、非鉄金属工業、繊維工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、鉱工業用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (11月)

平成2年11月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で108.0(昭和60年=100)となり、前月比△0.2%の下落、前年同月比4.1%の上昇となった。

今月上がった主な費目……他の光熱8.2%、油脂・調味料2.2%、交通2.0%、衣料1.9%、魚介類1.5%、自動車等関係費1.1%

今月下がった主な費目……果物△18.3%、野菜・海草△4.9%

生鮮食品を除く総合は107.6となり、前月比0.5%の上昇、

前年同月比3.1%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	108.0	△0.2	4.1	保健医療	106.3	0.3	0.5
食 料	106.9	△1.4	5.5	交通通信	105.3	1.3	2.9
住 居	118.6	0.4	5.4	教 育	124.5	0.0	6.7
光熱・水道	93.2	1.0	5.9	教養娯楽	109.8	0.1	3.2
家具・家事用品	101.5	0.2	1.5	諸 雑 費	106.4	0.1	0.9
被服及び履物	115.2	1.0	3.8	生鮮食品を除く総合	107.6	0.5	3.1